



各部門の優秀な牛が勢揃い。名誉賞決定審査の行方を見守る酪農家たち

町ホルスタイン共進会

名誉賞に

鈴木茂幸さん（未經産牛の部）
藤岡俊策さん（経産牛の部）

葛巻町合併五十周年記念・第五十一回葛巻町ホルスタイン共進会（同実行委員会主催）は九月三日、江刈共進会場で開かれました。

出品牛は七十五頭。審査員は、共進会で数々の審査歴をもつ（社）ジェネティクス北海道の荒木敏彦さんが務め、部門ごとに体型や資質などを入念に審査しました。

審査結果（金賞1席の受賞者）

部門	区分	出品者	支部
未經産牛	ジュニア	中村 優	江刈
	第1部	中村 優	江刈
	第2部	中家 学	小屋瀬
	第3部	鈴木 茂幸	小屋瀬
	第4部	折元 金喜千	江刈
経産牛	第5部	松浦 陽治	江刈
	第6部	漆真下 孝幸	江刈
	第7部	岩泉 篤	江刈
	第8部	藤岡 俊策	葛巻
	第9部	橋本 太	小屋瀬
	第10部	漆真下 孝幸	江刈
第11部	牧場牛群	漆真下 孝幸	江刈

審査の結果、名誉賞は未經産牛の部が鈴木茂幸さん（小屋瀬）のグロウイングヒル・エンパイヤ・ダーハム、経産牛の部は藤岡俊策さん（葛巻）のドリームランチ・ラッキー・ピースが獲得しました。

団体では六年連続で、江刈支部が優勝しました。

各部門の金賞一席に輝いた方々は、次のとおりです。

友あり遠方より来る

二年前に再会を約束して別れたドイツのラインラント・プファルツ州パードデュルクハイム市のルッツ市長、リンケ夫妻、ローゼブツク夫妻一行十五名が九月二十二日から二十七日まで、葛巻に滞在した。

そもそもこの交流は、平成六年、岩手県が同州との交流を推進してきたことに始まる。平成十四年三月、岩手県に同市から「ワインが温泉の町と交流したい」との申し入れがあり、県が

ひ 町長の ひとりごと 15



ら本町に打診があった。ワインの技術の交流等くずまきワインにとって有益であると判断し、くずまきワインが中心となって交流することにした。

そして、毎年「ワインとミルクの旅」を計画し、同市を訪れることとし、昨年に引き続き今年も生徒四名と先生が訪問する。本町と、魅力ある葛巻高校へのくずまきワインの貢献の一環である。このような機会を通じて生徒をはじめ、町民が一層国際感覚を身に付けてほしいと願うものである。



発電施設の外観

木質バイオマスガス化発電施設 くずまき高原牧場で試験稼働

くずまき高原牧場に建設された木質バイオマスガス化発電施設は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と月島機械株式会社との共同研究により整備されたものです。設備費は約二億五千万円。一日に木材チップ三トンを原料にして、一時間当たり百二十キロワットの電気と二百六十六キロワットの熱を供給できます。

本年度は稼働実験を進め、来年度以降、樹皮が残ったままの間伐材を活用できるか実験されます。

町では、エネルギー自給率の向上と、間伐材利用による森林保全や林業振興に期待を寄せています。